

1) じっくり考える

- ・カットの必然性、何故このカットは必要なのか。
- ・キャラクターの行動、このカットでキャラクターは何をするのか。
- ・始める前に、これから自分がすることについてよく考えておく。

2) サムネイル（寸描）

- ・演出、ステージング、カメラアングル、サイズ、配置をいろいろとやってみる。
- ・カッティングとコンティニューティー、自分のカットがそのシーンの中のどんな場所でどんな役割を果たしているか、つながりで理解し、決められた状況の中で、キャラクターをもっとも効果的に見せるチャンスを探し出す。

3) 見せ方の技術

- ・遠近と奥行き、自分の描く絵がレイアウトにぴったりあうようにする。
- ・大きさ、サイズ、キャラクターと背景、小道具等との関係を最大限に利用しているか？

4) 動作を描くうえでの特殊な問題を解決しておく

- ・セルにするか、背景に描きこむか、ダブルシンにするか、塗りにするか——といった技術上の問題を解決しないでとりかからないように！

5) 自分のアイデアを再度チェックする

- ・自分が決めたアクションがレイアウトにおさまるかどうか、本当に自分のアイデアがよいかどうか、誰かほかの人に話してチェックする。

6) これまでに描いたものを実際のレイアウト、動画用紙にのばして描く

- ・サムネイル、ポーズの下書きをもとにカットの中のキー・ポジションにざっと書き写す。

7) 「エネルギー」を注入する

- ・あらゆる問題が解決された今、いよいよアニメーターはカットに生命を与えるべく全力を傾けることができるのだ。

アニメーターの仕事とは、カットに生命をふきこむこと、ストーリー・ポイントをうまく観客に伝えること、人々を楽しませるもの、人々が見て面白いと思うものを創り出すことであり、正確に描くこと、人々の心をひきつけることであり、それらを通じて魅力あるキャラクターを創りあげることです。